

## 8 1 住宅当たり敷地面積

一戸建住宅について住宅の所有関係別に敷地面積別住宅数をみると、持ち家では敷地面積「100～499㎡」が全体の78.8%と大部分を占めており、その中でも「200～299㎡」が23.6%と一番多くなっている。それに対し、借家は「50～199㎡」が76.2%と大部分を占めており、その中でも「100～149㎡」が22.1%と一番多い。

1住宅当たり敷地面積をみても、借家の129.85㎡に対し、持ち家は255.62㎡と借家の約2倍の広さとなった。

一戸建の1住宅当たり敷地面積は244.71㎡で、平成25年に比べ13.26㎡減少した。また、長屋建住宅は61.98㎡で、平成25年に比べ0.83㎡減少した。

<表8、図4>

表8 一戸建住宅の所有関係別敷地面積（平成30年）

長崎県	総数	持ち家		借家	
		実数	構成比	実数	構成比
総数（敷地）	357,700	323,500	100.0	30,700	100.0
49㎡以下	8,000	4,600	1.4	3,400	11.1
50～74㎡	20,600	13,900	4.3	6,700	21.8
75～99㎡	29,100	22,800	7.0	6,300	20.5
100～149㎡	61,700	54,900	17.0	6,800	22.1
150～199㎡	75,900	72,300	22.3	3,600	11.7
200～299㎡	78,600	76,200	23.6	2,400	7.8
300～499㎡	52,600	51,500	15.9	1,100	3.6
500～699㎡	15,200	15,000	4.6	200	0.7
700～999㎡	8,800	8,700	2.7	100	0.3
1000～1499㎡	2,500	2,500	0.8	100	0.3
1500㎡以上	1,200	1,200	0.4	0	0.0
1住宅当たり敷地面積（㎡）	244.71	255.62	-	129.85	-

単位：戸、%

数値は居住世帯のある住宅

「総数」は、住宅の所有の関係「不詳」を含む。

「総数（敷地）」は、敷地面積「不詳」を含む。

構成比は、総数（敷地）の実数に占める割合。

図4-1 (銀、長屋建住宅の1住宅当たりの敷地面積(㎡)  
(長崎県)

